

平成20年3月期 中間決算短信

平成19年11月16日

上場会社名 中日本興業株式会社
 コード番号 9643
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 服部 清純
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長 (氏名) 三田 則男
 半期報告書提出予定日 平成19年12月20日

上場取引所 名証第2部
 URL <http://www.nnk-cinema.co.jp>

TEL(052)551-0274
 配当支払開始予定日 平成19年12月4日
 (百万円未満切捨て)

1. 19年9月中間期の連結業績(平成19年4月1日~平成19年9月30日)

(1)連結経営成績 (%表示は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年9月中間期	1,787	23.1	11		5		17	
18年9月中間期	1,451	11.3	42		47		24	
19年3月期	2,895		48		18		25	

	1株当たり中間 (当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり 中間(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
19年9月中間期	32	58		
18年9月中間期	45	87		
19年3月期	46	38		

(参考) 持分法投資損益 19年9月中間期 百万円 18年9月中間期 百万円 19年3月期 百万円

(2)連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
19年9月中間期	4,589		3,441		75.0	6,381	29	
18年9月中間期	4,392		3,517		80.1	6,521	97	
19年3月期	4,834		3,512		72.7	6,513	04	

(参考) 自己資本 19年9月中間期 3,441百万円 18年9月中間期 3,517百万円 19年3月期 3,512百万円

(3)連結キャッシュ・フロー - の状況

	営業活動による キャッシュ・フロー -		投資活動による キャッシュ・フロー -		財務活動による キャッシュ・フロー -		現金及び現金同等物 期末残高	
	百万円		百万円		百万円		百万円	
19年9月中間期	59		36		36		499	
18年9月中間期	20		248		17		700	
19年3月期	97		650		166		558	

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金		
	中間期末	期末	年間
	円	銭	円
19年3月期	30	30	60
20年3月期	30		60
20年3月期(予想)		30	

3. 20年3月期の連結業績予想(平成19年4月1日~平成20年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	3,583	23.8	41	14.6	56	211.1	35	40.0	64	89

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の移動） 無
- (2) 中間連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更に記載されるもの）
- 会計基準等の改正に伴う変更 有
 以外の変更 無

(注) 詳細は、13ページ「中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

期末発行済株式数（自己株式を含む）19年9月中間期 540,000株 18年9月中間期 540,000株 19年3月期 540,000株
 期末自己株式数 19年9月中間期 665株 18年9月中間期 665株 19年3月期 665株

(注) 1株当たり当期純利益（連結）の算定の基礎となる株式数については、19ページ「1株当たり情報」をご覧ください。

(参考) 個別業績の概要

1. 19年9月中間期の個別業績（平成19年4月1日～平成19年9月30日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年9月中間期	1,073	46.5	1		13	57.5	6	66.9
18年9月中間期	732	14.3	19		32		19	
19年3月期	1,449		9		14		14	

	1株当たり 中間(当期)純利益	
	円	銭
19年9月中間期	12	04
18年9月中間期	36	40
19年3月期	27	74

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円	銭
19年9月中間期	4,903	3,903	79.6	7,236	77
18年9月中間期	4,671	3,959	84.8	7,341	98
19年3月期	5,098	3,950	77.5	7,323	89

(参考) 自己資本 19年9月中間期 3,903百万円 18年9月中間期 3,959百万円 19年3月期 3,950百万円

2. 20年3月期の個別業績予想（平成19年4月1日～平成20年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

通 期	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
	2,100	44.9	10	11.1	36	157.1	23	64.3	42	65

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

経 営 成 績

1. 経営成績に関する分析

(1) 当中間連結会計期間の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、企業業績の向上、設備投資の増加等が続くとともに個人消費にも持ち直しの動きが見られるなど、景気は緩やかながらも回復基調をたどりました。ご当地名古屋駅前地区には超高層ビルが次々と建設され、昼間の就業人口に大幅な動きが見られるとともに、商業施設への人の流れも大きく変動いたしました。

映画興行界におきましては、ゴールデンウィークから夏にかけて大作があったものの、シネマコンプレックスの増加にともないスクリーン数は増加傾向にあり、1スクリーン当たりの売上高は減少傾向となっております。また、近年、映画業界としては海賊版DVDによる被害が問題視されておりましたが、本年8月に知的財産である映画を守るべき海賊版撲滅のための法律「映画盗撮防止法」が施行されました。現在、映画業界全体として「映画盗撮防止法」の告知・浸透に全力を挙げて取り組んでおります。

このような経営環境のもとシネマ部門では、本年3月に「ミッドランド スクエア」商業棟5階に7スクリーン・1270席の「ミッドランド スクエア シネマ」をオープンさせ、お客様の多様なニーズに応える劇場づくりを目指し、興行システムの再構築や効率的な番組編成に心掛けるなど、劇場の収益の増加を図ってまいりました。

以上の結果、「ミッドランド スクエア シネマ」についてはオープン効果もあり好調に推移いたしました。既存の劇場であるピカデリーにつきましてはやや苦戦をいたしました。

リラクゼーション部門では、本年3月に愛知県江南市にスーパー銭湯の2号店「松竹温泉 天風の湯」をオープンさせました。

カルチャー部門では、「TSUTAYA ミュキモール庄内通り店」が同業他社との競争の激化などにより、苦戦を強いられました。

この結果、当中間連結会計期間の売上高は17億87百万円(前期比23.1%増)、営業損失は11百万円、経常損失は5百万円、中間純損失は17百万円となりました。

(2) 通期の見通し

通期の見通しにつきましては、米国経済や原油価格の動向など懸念材料はあるものの、企業部門の好調さや個人消費の拡大等により景気は引き続き堅調に推移すると思われれます。

このような状況のもと、当社グループとしましては一層の営業努力を重ね、収益の強化・安定に取り組んでまいります。以上により、連結売上高35億83百万円、営業利益41百万円、経常利益56百万円、当期純利益35百万円を予想しております。

2. 財政状態に関する分析

当中間連結会計期間末の総資産は45億89百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億45百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金等の流動資産の減少によるものであります。

当中間連結会計期間末の負債合計は11億47百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億74

百万円減少いたしました。これは主に未払金等の減少によるものであります。

また、当連結会計年度末の純資産合計は34億41百万円となりました。

当中間連結会計期間末のキャッシュ・フローの状況としましては、営業活動によるキャッシュ・フローは59百万円で前中間連結会計期間末と比べ79百万円の減少、投資活動によるキャッシュ・フローは36百万円で前中間連結会計期間末と比べ2億84百万円の増加、財務活動によるキャッシュ・フローは36百万円で前中間連結会計期間末と比べ18百万円の減少でした。以上の結果、当中間連結会計期間末の現金及び現金同等物の減少額は59百万円となり、現金及び現金同等物の期末残高は4億99百万円となりました。

3. 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

今後とも長期的に安定した経営基盤の確保に努め、業績及び配当性向等を総合的に勘案して安定した配当を維持していくことを基本として経営にあたる方針でございます。内部留保金につきましては、財務体質の向上を図りながら設備投資資金等に活用する予定であります。

当中間期の配当につきましては、1株につき30円実施し、期末配当金も1株につき30円として、年間で1株につき60円とする予定であります。

企業集団の状況

最近の有価証券報告書(平成19年6月27日提出)における「事業系統図(事業の内容)及び「関係会社の状況」から重要な変更がないため開示を省略いたします。

経 営 方 針

1. 経営の基本方針

当社グループは、サービス業を通じて地域社会に貢献するとともに、お客様に感動のあるサービスを提供することを経営の基本方針としております。

2. 中長期的な経営戦略

近郊のシネマコンプレックスとの競争の激化など、当社グループをとりまく環境は厳しい状況で推移しております。このような状況のもと、当社グループといたしましては機構改革・意識改革を推進するとともに、基幹部門であるシネマ部門の充実をはかりながら子会社を通じて新規事業の展開を進めていく所存であります。

3. 対処すべき課題

シネマ部門では、平成 19 年 3 月に「ミッドランド スクエア」商業棟 5 階に、松竹(株)との共同事業体として運営する「ミッドランド スクエア シネマ」(7スクリーン)をオープンさせ、既存の劇場のピカデリー 1～6 と合わせて 13スクリーン体制となりました。それぞれの劇場の特性を生かしながら効率的な番組編成に留意し、名古屋駅前の立地の優位性をさらに高めてまいります。

リラクゼーション部門では、平成 19 年 3 月に愛知県江南市にスーパー銭湯の 2 号店「松竹温泉 天風の湯」をオープンさせました。スーパー銭湯の 1 号店「太平温泉 天風の湯」とともに地域に密着した顧客満足度の高い施設を目指します。

カルチャー部門では、「TSUTAYA ミュキモール庄内通り店」において同業他社との差別化を図り、今まで以上に会員の囲い込みに努力をし、収益の安定化を目指します。

中間連結貸借対照表

(単位：千円未満切捨)

科 目	当中間連結会計期末 (平成19年 9月30日)		前中間連結会計期末 (平成18年 9月30日)		前連結会計年度要約貸借対照表 (平成19年 3月31日)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比
(資産の部)		%		%		%
流 動 資 産	1,199,291	26.1	1,634,660	37.2	1,312,121	27.1
現金及び預金	605,565		806,697		664,939	
受取手形	19,401		32,044		32,250	
売掛金	112,044		94,218		110,889	
有価証券	201,192		500,277		250,808	
たな卸資産	107,431		114,118		114,200	
繰延税金資産	8,537		10,508		17,254	
その他の流動資産	146,181		77,873		123,087	
貸倒引当金	1,062		1,077		1,308	
固 定 資 産	3,389,930	73.9	2,757,585	62.8	3,522,545	72.9
有形固定資産	(2,452,429)	53.5	(1,707,269)	38.9	(2,511,071)	51.9
建物及び構築物	2,161,338		1,226,673		2,210,137	
機械装置及び運搬具	10,976		12,745		12,284	
器具及び備品	100,961		35,657		109,495	
土 地	179,153		179,153		179,153	
建設仮勘定			253,039			
無形固定資産	(51,958)	1.1	(71,291)	1.6	(61,291)	1.3
のれん	50,000		70,000		60,000	
電話加入権	1,291		1,291		1,291	
ソフトウェア	667					
投資その他の資産	(885,543)	19.3	(979,024)	22.3	(950,182)	19.7
投資有価証券	461,387		705,487		524,145	
差入保証金	415,015		286,262		415,531	
長期前払費用	7,857		4,557		9,498	
繰延税金資産	1,281		716		1,006	
資産合計	4,589,222	100	4,392,245	100	4,834,667	100

(単位：千円未満切捨)

科 目	当中間連結会計期間末 平成19年 9月30日現在		前中間連結会計期間末 平成18年 9月30日現在		前連結会計年度要約貸借対照表 平成19年 3月31日現在	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比
(負債の部)		%		%		%
流動負債	485,150	10.6	329,423	7.5	609,481	12.6
買掛金	266,534		166,009		235,318	
1年以内長期借入金	40,000				40,000	
未払金					184,408	
未払法人税等	9,443		24,331		26,689	
未払消費税等					9,574	
未払費用	46,670		34,024		63,020	
役員賞与引当金			5,500		11,000	
賞与引当金	14,600		11,300		13,100	
その他の流動負債	107,902		88,258		26,370	
固定負債	662,416	14.4	545,295	12.4	712,475	14.7
長期借入金	140,000				160,000	
役員退職慰労引当金	85,327		78,513		81,703	
退職給付引当金	52,184		48,540		50,566	
受入保証金	343,008		355,200		351,204	
繰延税金負債	41,896		63,041		69,001	
負債合計	1,147,567	25.0	874,719	19.9	1,321,956	27.3
(純資産の部)						
株主資本	3,287,598	71.6	3,337,256	76.0	3,321,351	68.7
資本金	270,000	5.8	270,000	6.1	270,000	5.6
資本剰余金	13		13		13	
利益剰余金	3,023,830	65.9	3,073,487	70.0	3,057,582	63.2
自己株式	6,245	0.1	6,245	0.1	6,245	0.1
評価・換算差額金等	154,056	3.4	180,269	4.1	191,359	4.0
その他有価証券評価差額金	154,056		180,269		191,359	
少数株主持分						
純資産合計	3,441,655	75.0	3,517,525	80.1	3,512,710	72.7
負債及び純資産合計	4,589,222	100	4,392,245	100	4,834,667	100

中間連結損益計算書
自平成 19 年 4 月 1 日 至平成 19 年 9 月 30 日

(単位：千円未満切捨)

科 目	当中間連結会計期間 自 平成19年 4月 1日 至 平成19年 9月30日		前中間連結会計期間 自 平成18年 4月 1日 至 平成18年 9月30日		前連結会計年度要約損益計算書 自 平成18年 4月 1日 至 平成19年 3月31日	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	百分比
区 分						
売 上 高	1,787,849	100.0	1,451,851	100.0	2,895,487	100.0
売 上 原 価	1,007,234	56.3	834,385	57.5	1,641,331	56.7
売上総利益	780,615	43.7	617,466	42.5	1,254,156	43.3
販売費及び一般管理費	791,667	44.3	574,876	39.6	1,205,876	41.6
営業利益又は営業損失()	11,051	0.6	42,590	2.9	48,279	1.7
営業外収益	(8,561)	0.4	(9,991)	0.7	(21,435)	0.7
受取利息及び配当金	3,456		7,597		15,453	
そ の 他	5,104		2,393		5,982	
営業外費用	(2,529)	0.1	(5,363)	0.3	(50,847)	1.7
支払利息	1,248		-		32	
開業費償却	-		3,426		48,177	
そ の 他	1,281		1,936		2,637	
経常利益又は経常損失()	5,020	0.3	47,217	3.3	18,866	0.7
特別利益	(3,103)	0.2	(-)		(37,752)	1.3
貸倒引当金戻入益	246		-		-	
協賛金	2,857		-		37,752	
特別損失	(-)		(-)		(6,275)	0.2
固定資産除却損	-		-		3,075	
支払補償金	-		-		3,200	
税金等調整前中間(当期)						
純利益又は中間純損失()	1,916	0.1	47,217	3.3	50,343	1.8
法人税、住民税及び事業税	8,862	0.5	24,724	1.7	36,221	1.3
法人税等調整額	6,792	0.4	2,251	0.1	10,896	0.4
中間(当期)純利益又は 中間純損失()	17,572	1.0	24,744	1.7	25,019	0.9

中間連結株主資本等変動計算書

当中間連結会計期間（自平成 19 年 4 月 1 日 至平成 19 年 9 月 30 日）

（単位：千円未満切捨）

項 目	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計
平成 19 年 3 月 31 日残高	270,000	13	3,057,582	6,245	3,321,351
中間連結会計期間中の変動額					
剰余金の配当			16,180		16,180
中間純利益			17,572		17,572
自己株式の取得					
中間連結会計期間中の変動額合計			33,752		33,752
平成 19 年 9 月 30 日残高	270,000	13	3,023,830	6,245	3,287,598

項 目	評価・換算差額等		少数株主 持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計		
平成 19 年 3 月 31 日残高	191,359	191,359		3,512,710
中間連結会計期間中の変動額				
剰余金の配当				16,180
中間純利益				17,572
自己株式の取得				
株主資本以外の項目の中間連結 会計期間中の変動額（純額）	37,303	37,303		37,303
中間連結会計期間中の変動額合計	37,303	37,303		71,055
平成 19 年 9 月 30 日残高	154,056	154,056		3,441,655

前中間連結会計期間（自平成 18 年 4 月 1 日 至平成 18 年 9 月 30 日）

（単位：千円未満切捨）

項 目	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計
平成 18 年 3 月 31 日残高	270,000	13	3,075,826	5,167	3,340,672
中間連結会計期間中の変動額					
剰余金の配当			16,183		16,183
役員賞与			10,900		10,900
中間純利益			24,744		24,744
自己株式の取得				1,077	1,077
中間連結会計期間中の変動額合計			2,338	1,077	3,416
平成 18 年 9 月 30 日残高	270,000	13	3,073,487	6,245	3,337,256

項 目	評価・換算差額等		少数株主 持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計		
平成 18 年 3 月 31 日残高	191,050	191,050		3,531,723
中間連結会計期間中の変動額				
剰余金の配当				16,183
役員賞与				10,900
中間純利益				24,744
自己株式の取得				1,077
株主資本以外の項目の中間連結 会計期間中の変動額（純額）	10,781	10,781		10,781
中間連結会計期間中の変動額合計	10,781	10,781		14,197
平成 18 年 9 月 30 日残高	180,269	180,269		3,517,525

連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度（自平成 18 年 4 月 1 日 至平成 19 年 3 月 31 日）

（単位：千円未満切捨）

項 目	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計
平成 18 年 3 月 31 日残高	270,000	13	3,075,826	5,167	3,340,672
当期の変動額					
剰余金の配当			32,363		32,363
役員賞与			10,900		10,900
当期純利益			25,019		25,019
自己株式の取得				1,077	1,077
当期の変動額合計			18,243	1,077	19,321
平成 19 年 3 月 31 日残高	270,000	13	3,057,582	6,245	3,321,351

項 目	評価・換算差額等		少数株主 持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計		
平成 18 年 3 月 31 日残高	191,050	191,050		3,531,723
当期の変動額				
剰余金の配当				32,363
役員賞与				10,900
当期純利益				25,019
自己株式の取得				1,077
株主資本以外の項目の当期 の変動額（純額）	308	308		308
当期の変動額合計	308	308		19,012
平成 19 年 3 月 31 日残高	191,359	191,359		3,512,710

中間連結キャッシュ・フロー - 計算書

(単位：千円未満切捨)

科 目	当中間連結会計期間 (自 平成19年 4月 1日 至 平成19年 9月30日)	前中間連結会計期間 (自 平成18年 4月 1日 至 平成18年 9月30日)	前連結会計年度 (自 平成18年 4月 1日 至 平成19年 3月31日)
	金 額	金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー -			
税金等調整前中間(当期)純利益又は 税金等調整前中間純損失()	1,916	47,217	50,343
減価償却費	71,752	41,846	89,086
無形固定資産償却費	10,023	10,000	20,000
貸倒引当金の増減額	246	88	319
役員賞与引当金の増減額	11,000	5,500	11,000
賞与引当金の増減額	1,500	300	2,100
退職給付引当金の増減額	1,618	521	2,546
受取利息及び配当金	3,456	7,874	16,249
有形固定資産除却損			1,557
売上債権の増減額	11,694	6,904	23,781
棚卸資産の増減額	6,769	11,916	11,998
その他の流動資産の増減額	23,093	56,903	102,116
差入保証金の増減額			167,117
その他の投資の増減額	2,156	19,206	4,298
仕入債務の増減額	31,216	1,610	67,698
未払金の増減額	184,408		184,408
未払消費税の増減額	9,574	23,516	13,942
未払費用の増減額	16,349	1,829	30,825
受入保証金の増減額	8,196	8,196	12,192
その他の流動負債の増減額	81,531	67,249	5,361
役員賞与の支払額		10,900	10,900
役員退職慰労引当金増減額	3,623	1,580	4,770
小 計	36,357	29,105	107,421
利息及び配当金の受取額	3,086	7,597	15,453
法人税等の支払額	26,108	16,173	25,312
営業活動によるキャッシュ・フロー -	59,379	20,529	97,562
投資活動によるキャッシュ・フロー -			
有価証券の売却による収入	49,986		249,988
投資有価証券の売却による収入			200,000
投資有価証券の取得による支出		4,247	4,247
定期預金の払い戻しによる収入		10,000	10,000
有形固定資産の取得による支出	13,110	253,929	1,106,529
無形固定資産の取得による支出	690		
投資活動によるキャッシュ・フロー -	36,186	248,177	650,788
財務活動によるキャッシュ・フロー -			
借入金による収入			200,000
借入金の返済による支出	20,000		
配当金の支払額	16,180	16,183	32,363
自己株式の取得による支出		1,077	1,077
財務活動によるキャッシュ・フロー -	36,180	17,260	166,559
現金及び現金同等物の増減額	59,373	244,908	386,667
現金及び現金同等物の期首残高	558,939	945,606	945,606
現金及び現金同等物の期末残高	499,565	700,697	558,939

は貸倒実績率により、特定のものについては個別に検討して計上しております。

役員賞与引当金	役員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額に基づき計上しております。
賞与引当金	従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額に基づき計上しております。
退職給付引当金	従業員の退職給付に備えるため、当中間連結会計期間末における退職給付債務の見込額に基づき、当中間連結会計期間末において発生していると認められる額を計上しております。

役員退職慰労引当金 役員退職慰労金の支出に備えるため、会社規定に基づき計上しております。

重要なり - ス取引の処理方法

り - ス物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・り - ス取引については、通常の賃貸借取引に準じた会計処理によっております。

消費税等の処理方法

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式を採用しております。

連結子会社の会計処理基準が親会社と異なる場合のその差異

親会社と連結子会社との会計処理基準の相違により連結純利益額等に重要な影響を与えておりません。

5 . 連結キャッシュ・フロ - 計算書における資金の範囲

現金及び預金であり、預金のうち預入期間が 3 ヶ月を超える定期預金は除いております。

〔注記事項〕

(中間連結貸借対照表関係)

	(当中間連結会計期間末)	(前中間連結会計期間末)	(前連結会計年度末)
1 . 有形固定資産の減価償却累計額	921,840 千円	807,120 千円	850,088 千円

(中間連結株主資本等変動計算書関係)

当中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)

1 . 発行済株式に関する事項

株式の種類	前連結会計年度末	増加	減少	当中間連結会計期間末
普通株式 (株)	540,000	-	-	540,000

2. 自己株式に関する事項

株式の種類	前連結会計年度末	増加	減少	当中間連結会計期間末
普通株式(株)	665	-	-	665

3. 新株予約権等に関する事項

該当事項はありません。

4. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額	1株当たり配当額	基準日	効力発生日
平成19年6月26日 定時株主総会	普通株式	16,180千円	30円	平成19年3月31日	平成19年6月27日

(2) 基準日が当中間連結会計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当中間連結会計期間後となるもの

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額	1株当たり配当額	基準日	効力発生日
平成19年11月16日 取締役会	普通株式	利益 剰余金	16,180千円	30円	平成19年 9月30日	平成19年 12月4日

前中間連結会計期間(自 平成18年4月1日 至 平成18年9月30日)

1. 発行済株式に関する事項

株式の種類	前連結会計年度末	増加	減少	当中間連結会計期間末
普通株式(株)	540,000	-	-	540,000

2. 自己株式に関する事項

株式の種類	前連結会計年度末	増加	減少	当中間連結会計期間末
普通株式(株)	565	100	-	665

3. 新株予約権等に関する事項

該当事項はありません。

4. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額	1株当たり配当額	基準日	効力発生日
平成18年6月27日 定時株主総会	普通株式	16,183千円	30円	平成18年3月31日	平成18年6月28日

(2) 基準日が当中間連結会計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当中間連結会計期間後となるもの

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額	1株当たり配当額	基準日	効力発生日
平成18年11月24日 取締役会	普通株式	利益 剰余金	16,180千円	30円	平成18年 9月30日	平成18年 12月4日

前連結会計期間（自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日）

1. 発行済株式に関する事項

株式の種類	前連結会計年度末	増加	減少	当中間連結会計期間末
普通株式(株)	540,000	-	-	540,000

2. 自己株式に関する事項

株式の種類	前連結会計年度末	増加	減少	当中間連結会計期間末
普通株式(株)	565	100	-	665

3. 新株予約権等に関する事項

該当事項はありません。

4. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額	1株当たり配当額	基準日	効力発生日
平成18年6月27日 定時株主総会	普通株式	16,183千円	30円	平成18年3月31日	平成18年6月28日
平成18年11月24日 取締役会	普通株式	16,180千円	30円	平成18年9月30日	平成18年12月4日

(2) 基準日が当連結会計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当連結会計期間後となるもの

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額	1株当たり配当額	基準日	効力発生日
平成19年6月26日 定時株主総会	普通株式	利益 剰余金	16,180千円	30円	平成19年 3月31日	平成19年 6月27日

(中間連結キャッシュ・フロ - 計算書関係)

1. 現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目金額との関係

	(当中間連結会計期間)	(前中間連結会計期間)	(前連結会計年度)
現金及び預金勘定	605,565 千円	806,697 千円	664,939 千円
預入期間が 3ヶ月を越える定期預金	106,000 千円	116,000 千円	106,000 千円
現金及び現金同等物	499,565 千円	700,697 千円	558,939 千円

(セグメント情報)

1. 事業の種類別セグメント情報

当中間連結会計年度 (自平成19年4月1日 至平成19年9月30日)

(単位:千円未満切捨)

	シネマ	リクレーション	カルチャー	計	消去対全社	連 結
売上高及び営業損益						
売 上 高						
外部顧客に対する売上高	976,253	457,017	354,578	1,787,849		1,787,849
セグメント間の内部売上高 又は振替高	97,348	4	6,975	104,329	(104,329)	
計	1,073,602	457,021	361,554	1,892,178	(104,329)	1,787,849
営 業 費 用	1,074,436	457,031	371,761	1,903,230	(104,329)	1,798,901
営 業 利 益	834	10	10,207	11,051		11,051

(注) 1. 事業区分は、内部管理上採用している区分によっている。

2. 各事業の主な内容

(1) シネマ …… 映画興行、劇場内売店、富くじの受託販売、不動産賃貸、

(2) リクレーション …… 飲食店、浴場施設等

(3) カルチャー …… 書籍、映像ソフト、音声ソフト等の販売及び映像ソフト、音声ソフトのレンタル
看板の製作、広告代理店等

前中間連結会計年度 (自平成18年4月1日 至平成18年9月30日)

(単位:千円未満切捨)

	シネマ	リクレーション	カルチャー	計	消去対全社	連 結
売上高及び営業損益						
売 上 高						
外部顧客に対する売上高	687,066	331,275	433,510	1,451,851		1,451,851
セグメント間の内部売上高 又は振替高	45,696	32	6,482	52,211	(52,211)	
計	732,762	331,307	439,992	1,504,063	(52,211)	1,451,851
営 業 費 用	713,381	305,999	442,091	1,461,473	(52,211)	1,409,262
営 業 利 益	19,381	25,308	2,099	42,590		42,590

(注) 1. 事業区分は、内部管理上採用している区分によっている。

2. 各事業の主な内容

(1) シネマ …… 映画興行、劇場内売店、富くじの受託販売、不動産賃貸、

(2) リクレーション …… 飲食店、浴場施設等

(3) カルチャー …… 書籍、映像ソフト、音声ソフト等の販売及び映像ソフト、音声ソフトのレンタル
看板の製作、広告代理店等

前連結会計年度 (自平成 18 年 4 月 1 日 至平成 19 年 3 月 31 日)

(単位：千円未満切捨)

	シネマ	リノベーション	カルチャー	計	消去は全社	連 結
売上高及び営業損益						
売 上 高						
外部顧客に対する売上高	1,349,434	660,209	885,732	2,895,487		2,895,487
セグメント間の内部売上高 又は振替高	99,963	84	15,865	115,913	(115,913)	
計	1,449,509	660,293	901,598	3,011,400	(115,913)	2,895,487
営 業 費 用	1,439,800	627,120	896,200	2,963,121	(115,913)	2,847,208
営 業 利 益	9,709	33,172	5,397	48,279		48,279

(注) 1. 事業区分は、内部管理上採用している区分によっている。

2. 各事業の主な内容

(1) シネマ ……映画興行、劇場内売店、富くじの受託販売、不動産賃貸、

(2) リノベーション ……飲食店、浴場施設等

(3) カルチャー ……書籍、映像ソフト、音声ソフト等の販売及び映像ソフト、音声ソフトのレンタル
看板の製作、広告代理店等

(1 株当たり情報)

当中間連結会計期間 (自 平成 19 年 4 月 1 日 至 平成 19 年 9 月 30 日)	前中間連結会計期間 (自 平成 18 年 4 月 1 日 至 平成 18 年 9 月 30 日)	前連結会計年度 (自 平成 18 年 4 月 1 日 至 平成 19 年 3 月 31 日)
1 株当たり純資産額 6,381 円 29 銭 1 株当たり中間純損失 32 円 58 銭 なお、潜在株式調整後 1 株当たり 当期純利益金額については、潜在 株式がないため記載しておりませ ん。	1 株当たり純資産額 6,521 円 97 銭 1 株当たり中間純利益 45 円 87 銭 なお、潜在株式調整後 1 株当たり 当期純利益金額については、潜在 株式がないため記載しておりませ ん。	1 株当たり純資産額 6,513 円 04 銭 1 株当たり当期純利益 46 円 38 銭 なお、潜在株式調整後 1 株当たり 当期純利益金額については、潜在 株式がないため記載しておりませ ん。

(注) 算定上の基礎

1. 1 株当たり純資産額

項 目	当中間連結会計期間末 (平成 19 年 9 月 30 日)	前中間連結会計期間末 (平成 18 年 9 月 30 日)	前連結会計年度末 (平成 19 年 3 月 31 日)
中間連結貸借対照表及び連結貸借対照 表の純資産の部の合計額(千円)	3,441,655	3,517,525	3,512,710
普通株主に係る純資産額(千円)	3,441,655	3,517,525	3,512,710
普通株式の発行済株式数(株)	540,000	540,000	540,000
普通株式の自己株式数(株)	665	665	665
1 株当たり純資産額の算定に用いられ た普通株式の数(株)	539,335	539,335	539,335

1 株当たり中間(当期)純利益

項 目	当中間連結会計年度 (自 平成 19 年 4 月 1 日 至 平成 19 年 9 月 30 日)	前中間連結会計期間 (自 平成 18 年 4 月 1 日 至 平成 18 年 9 月 30 日)	前連結会計年度 (自 平成 18 年 4 月 1 日 至 平成 19 年 3 月 31 日)
中間連結損益計算書(連結損益計算書) 上の中間(当期)純利益(千円)又は中間 純損失()	17,572	24,744	25,019
普通株主に係る中間(当期)純利益(千 円)又は中間純損失()	17,572	24,744	25,019
普通株式の期中平均株式数	539,335	539,385	539,385

(開示の省略)

リース取引、税効果会計、有価証券等に関する注記事項については、中間決算短信における開示の必要性が
大きくないと考えられるため開示を省略しております。

中 間 貸 借 対 照 表

(単位：千円未満切捨)

科 目	当中間会計期間末 (平成19年 9月30日)		前中間会計期間末 (平成18年 9月30日)		前事業年度の要約貸借対照表 (平成19年 3月31日)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比
(資産の部)		%		%		%
流動資産	882,907	18.0	1,273,201	27.3	947,178	18.6
現金及び預金	512,176		683,643		528,509	
売掛金	59,684		37,768		37,784	
有価証券	201,192		500,277		250,808	
商品	4,858		8,202		4,821	
仮払消費税	36,832		27,825			
繰延税金資産	6,983		8,311		10,359	
その他の流動資産	61,521		7,385		115,152	
貸倒引当金	342		213		258	
固定資産	4,020,236	82.0	3,398,357	72.7	4,151,394	81.4
有形固定資産	(2,846,908)	58.1	(2,110,002)	45.2	(2,905,088)	57.0
建物	1,921,770		1,076,650		1,963,975	
構築物	171,099		80,996		179,392	
機械及び装置	9,435		10,963		10,558	
器具備品	75,434		19,183		81,993	
土地	669,168		669,168		669,168	
建設仮勘定			253,039			
無形固定資産	(1,528)		(861)		(861)	
電話加入権	861		861		861	
ソフトウェア	667					
投資その他の資産	(1,171,799)	23.9	(1,287,493)	27.5	(1,245,445)	24.4
投資有価証券	461,160		705,247		523,915	
関係会社株式	45,000		45,000		45,000	
関係会社長期貸付金	325,000		345,000		335,000	
差入保証金	339,280		195,695		339,280	
長期前払費用	4,607				5,598	
貸倒引当金	3,250		3,450		3,350	
資産合計	4,903,143	100	4,671,559	100	5,098,572	100

(単位：千円未満切捨)

科 目	当中間会計期間末 (平成19年9月30日)		前中間会計期間末 (平成18年9月30日)		前事業年度の要約貸借対照表 (平成19年3月31日)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比
(負債の部)		%		%		%
流動負債	358,265	7.3	184,530	4.0	455,418	8.9
未払上映料	183,868		75,174		129,333	
買掛金	22,706		15,770		20,696	
1年以内長期借入金	40,000				40,000	
未払金					183,789	
仮受消費税	50,636		34,106			
未払法人税等	9,133		14,273		9,774	
未払費用	27,348		18,235		37,319	
役員賞与引当金			4,500		9,000	
賞与引当金	9,000		7,600		7,700	
その他の流動負債	15,571		14,870		17,805	
固定負債	641,832	13.1	527,242	11.2	693,121	13.6
長期借入金	140,000				160,000	
役員退職慰労引当金	71,574		66,369		68,768	
退職給付引当金	46,671		44,030		45,506	
受入保証金	343,008		355,200		351,204	
繰延税金負債	40,578		61,642		67,642	
負債合計	1,000,097	20.4	711,773	15.2	1,148,540	22.5
(純資産の部)						
株主資本	3,748,978	76.5	3,779,514	80.9	3,758,663	73.7
資本金	270,000	5.5	270,000	5.7	270,000	5.3
資本剰余金	13		13		13	
利益剰余金	3,485,210	71.0	3,515,745	75.2	3,494,895	68.4
利益準備金	67,500		67,500		67,500	
その他利益剰余金	3,417,710		3,448,245		3,427,395	
配当準備積立金	480,000		480,000		480,000	
別途積立金	2,380,000		2,380,000		2,380,000	
繰越利益剰余金	557,710		588,245		567,395	
自己株式	6,245		6,245		6,245	
評価・換算差額等	154,067	3.1	180,272	3.9	191,368	3.8
その他有価証券評価差額金	154,067		180,272		191,368	
純資産合計	3,903,045	79.6	3,959,786	84.8	3,950,032	77.5
負債及び純資産合計	4,903,143	100	4,671,559	100	5,098,572	100

中間損益計算書

(単位：千円未満切捨)

科 目	当中間会計期間 (自 平成19年 4月 1日 至 平成19年 9月30日)		前中間会計期間 (自 平成18年 4月 1日 至 平成18年 9月30日)		前事業年度要約損益計算書 (自 平成18年 4月 1日 至 平成19年 3月31日)	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	百分比
売 上 高	1,073,602	100	732,762	100	1,449,509	100
売上原価	614,978	57.3	397,728	54.3	780,568	53.9
売上総利益	458,624	42.7	335,033	45.7	668,940	46.1
販売費及び一般管理費	460,232	42.8	315,931	43.1	659,805	45.5
営業利益又は営業損失 ()	1,607	0.1	19,102	2.6	9,135	0.6
営業外収益	(17,740)	1.6	(17,308)	2.4	(35,618)	2.5
受取利息及び配当金	7,762		11,918		23,612	
その他	9,977		5,390		12,006	
営業外費用	(2,191)	0.2	(3,591)	0.5	(30,699)	2.1
支払利息	1,248				32	
開業費償却			3,409		30,187	
その他	942		182		478	
経常利益	13,940	1.3	32,819	4.5	14,054	1.0
特別利益	(2,873)	0.3	(272)		(15,507)	1.0
貸倒引当金戻入益	16		272		327	
協賛金	2,857				9,180	
受入保証金償却益					6,000	
特別損失	()		()		(3,075)	0.2
固定資産除却損					3,075	
税引前中間(当期)純利益	16,813	1.6	33,091	4.5	26,487	1.8
法人税、住民税及び事業税	8,552	0.8	14,666	2.0	16,352	1.1
法人税等調整額	1,765	0.2	1,210	0.2	4,829	0.3
中間(当期)純利益	6,495	0.6	19,634	2.7	14,964	1.0

中間株主資本等変動計算書

当中間会計期間（自平成 19 年 4 月 1 日 至平成 19 年 9 月 30 日）

（単位：千円未満切捨）

項 目	株主資本					株主資本 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金		自己株式	
		資本準備金	利益準備金	その他 利益剰余金		
平成 19 年 3 月 31 日残高	270,000	13	67,500	3,427,395	6,245	3,758,663
中間会計期間中の変動額						
剰余金の配当				16,180		16,180
中間純利益				6,495		6,495
自己株式の取得					-	-
中間会計期間中の変動額合計				9,684		9,684
平成 19 年 9 月 30 日残高	270,000	13	67,500	3,417,710	6,245	3,748,978

項 目	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
平成 19 年 3 月 31 日残高	191,368	191,368	3,950,032
中間会計期間中の変動額			
剰余金の配当			16,180
中間純利益			6,495
自己株式の取得			-
株主資本以外の項目の中間 会計期間中の変動額（純額）	37,301	37,301	37,301
中間会計期間中の変動額合計	37,301	37,301	46,989
平成 19 年 9 月 30 日残高	154,067	154,067	3,903,045

（注）その他利益剰余金の内訳

項 目	配当準備 積立金	別 途 積立金	繰越利益 剰余金	合 計
平成 19 年 3 月 31 日残高	480,000	2,380,000	567,395	3,427,395
中間会計期間中の変動額				
剰余金の配当			16,180	16,180
中間純利益			6,495	6,495
中間会計期間中の変動額合 計			9,684	9,684
平成 19 年 9 月 30 日残高	480,000	2,380,000	557,710	3,417,710

前中間会計期間（自平成 18 年 4 月 1 日 至平成 18 年 9 月 30 日）

（単位：千円未満切捨）

項 目	株主資本					株主資本 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金		自己株式	
		資本準備金	利益準備金	その他 利益剰余金		
平成 18 年 3 月 31 日残高	270,000	13	67,500	3,453,793	5,167	3,786,140
中間会計期間中の変動額						
剰余金の配当				16,183		16,183
利益処分による役員賞与				9,000		9,000
中間純利益				19,634		19,634
自己株式の取得					1,077	1,077
中間会計期間中の変動額合計				5,548	1,077	6,626
平成 18 年 9 月 30 日残高	270,000	13	67,500	3,448,245	6,245	3,779,514

項 目	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
平成 18 年 3 月 31 日残高	191,050	191,050	3,977,191
中間会計期間中の変動額			
剰余金の配当			16,183
利益処分による役員賞与			9,000
中間純利益			19,634
自己株式の取得			1,077
株主資本以外の項目の中間 会計期間中の変動額（純額）	10,778	10,778	10,778
中間会計期間中の変動額合計	10,778	10,778	17,404
平成 18 年 9 月 30 日残高	180,272	180,272	3,959,786

（注）その他利益剰余金の内訳

項 目	配当準備 積立金	別 途 積立金	繰越利益 剰余金	合 計
平成 18 年 3 月 31 日残高	480,000	2,380,000	593,793	3,453,793
中間会計期間中の変動額				
剰余金の配当			16,183	16,183
利益処分による役員賞与			9,000	9,000
中間純利益			19,634	19,634
中間会計期間中の変動額合 計			5,548	5,548
平成 18 年 9 月 30 日残高	480,000	2,380,000	588,245	3,448,245

株主資本等変動計算書

前事業年度（自平成 18 年 4 月 1 日 至平成 19 年 3 月 31 日）

（単位：千円未満切捨）

項 目	株主資本					自己株式	株主資本 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金		資本準備金		
		資本準備金	利益準備金	その他 利益剰余金			
平成 18 年 3 月 31 日残高	270,000	13	67,500	3,453,793	5,167	3,786,140	
当期変動額							
剰余金の配当				32,363		32,363	
利益処分による役員賞与				9,000		9,000	
当期純利益				14,964		14,964	
自己株式の取得					1,077	1,077	
当期変動額合計				26,398	1,077	27,476	
平成 19 年 3 月 31 日残高	270,000	13	67,500	3,427,395	6,245	3,758,663	

項 目	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
平成 18 年 3 月 31 日残高	191,050	191,050	3,977,191
当期変動額			
剰余金の配当			32,363
利益処分による役員賞与			9,000
当期純利益			14,964
自己株式の取得			1,077
株主資本以外の項目の当期 変動額（純額）	317	317	317
当期変動額合計	317	317	27,158
平成 19 年 3 月 31 日残高	191,368	191,368	3,950,032

（注）その他利益剰余金の内訳

項 目	配当準備 積立金	別 途 積立金	繰越利益 剰余金	合 計
平成 18 年 3 月 31 日残高	480,000	2,380,000	593,793	3,453,793
当期変動額				
剰余金の配当			32,363	32,363
利益処分による役員賞与			9,000	9,000
当期純利益			14,964	14,964
当期変動額合計			26,398	26,398
平成 19 年 3 月 31 日残高	480,000	2,380,000	567,395	3,427,395

決算発表（参考資料）

平成19年11月16日
中日本興業株式会社

1. 連結期別売上高・収益（実績）

（単位：百万円未満切捨）

期 別	売上高	営業利益	経常利益	当期利益
平成19年9月中間期	1787	11	5	17
18年9月中間期	1451	42	47	24
17年9月中間期	1303	33	4	12
16年9月中間期	1107	33	63	38

2. 個別期別売上高・収益（実績）

（単位：百万円未満切捨）

期 別	売上高	営業利益	経常利益	当期利益
平成19年9月中間期	1073	1	13	6
18年9月中間期	732	19	32	19
17年9月中間期	640	29	2	0
16年9月中間期	784	15	48	28

3. 投資金額

（上期）

ピカデリー1, 2の電気工事等	2百万円		
スーパー銭湯の建築費追加分等	11百万円	合計	13百万円

（下期）

予定はありません。

4. 75期上期の主な作品

平成19年4月～平成19年9月

	作品	監督	主演	公開日	内容
洋 画	ハリー・ポッターと ワールド・エンド	ゴア・ヴァービンスキー	ジョニー・デップ	5月25日	自由を愛する海賊・ジャック・スパロウの最後の大冒険。 大ヒット作の第3弾。
	ハリー・ポッターと 不死鳥の騎士団	デビッド・イエーツ	ダニエル・ラドクリフ	7月20日	ハリー・ポッターの秘密が明らかになる人気シリーズ第5弾。
	スパイダーマン3	サム・ライミ	トビー・マグワイア	5月1日	アメリカの人気コミック・ヒーロー。 今度の敵は悪の側面を持つ自分自身。
	ダイ・ハード4.0	レン・ワイズマン	ブルース・ウィリス	6月29日	世界一運の悪い刑事の壮絶アクションシリーズ第4弾。
	オーシャンズ13	スティーブン・ソダーバーグ	ジョージ・クルーニー	8月10日	犯罪組織・オーシャンズの新たな活躍を描く。シリーズ第3弾。
	トランスフォーマー	マイケル・ベイ	シャイア・ラブーフ	8月4日	スティーブン・スピルバーグ製作。 地球上の機器に変幻自在に変形するトランスフォーマーの壮絶なバトル。
	レミーのおいしい レストラン	ブラッド・バード	パットン・オズワルト	7月28日	パリの五つ星レストランを舞台に展開する、グルメなネズミと見習いシェフ の友情を描くCGアニメ。
	300 スリーハンドレッド	ザック・スナイダー	ジェラルド・バトラー	6月9日	スパルタ王・レオニダスのもとに集った300人の精鋭と100万人ものペルシア 軍の戦いを描く歴史スペクタクル。
邦 画	HERO	鈴木雅之	木村拓哉	9月8日	中卒で、型破りな検事・久利生が巨悪に挑む伝説のテレビシリーズの映画化。
	西遊記	澤田鎌作	香取慎吾	7月14日	天竺を目指す孫悟空一行と最強の敵の対決。
	舞妓Haaaaan!!!	水田伸生	阿部サダヲ	6月16日	舞妓遊びに命を掛ける男の軽妙かつ、破天荒なコメディ。
ア ニ メ	ポケット・モンスター ディアルガVSバルキアVSダークライ	湯山邦彦	松本梨香	7月14日	人気アニメシリーズ10周年記念作品。

5. 75期下期の主な作品

平成19年10月～平成20年3月

	作品	監督	主演	公開予定	内容
洋 画	バイオハザード	ラッセル・マルケイ	ミラ・ジョヴォヴィッチ	11月3日	ゾンビ軍団にひとり立ち向かうヒロインの活躍を描くアクションシリーズ。
	ホーン・アルティメイタム	ポール・グリーングラス	マット・デイモン	11月10日	過去を消された殺し屋ボーンの活躍。
	アイ・アム・レジェンド	フランシス・ローレンス	ウィル・スミス	12月14日	地球最後の生き残りになった男を描くSF大作。
	ナショナル・トレジャー リンカーン暗殺者の日記	ジョン・タートルトープ	ニコラス・ケイジ	12月21日	リンカーン暗殺にまつわる謎を解く、トレジャーハンターの冒険。
	スウィーニー・トッド フリート街の悪魔の理髪師	ティム・バートン	ジョニー・デップ	1月19日	人肉パイを売っていた実在の猟奇殺人者をジョニー・デップが怪演する話題作。
	ライラの冒険 黄金の羅針盤	クリス・ワイツ	ダコタ・ブルー・リチャーズ	3月1日	冒険ファンタジー小説待望の映画化第1弾。
	魔法にかけられて	ケヴィン・リマ	エイミー・アダムス	3月14日	アニメの世界のプリンセスが現代のニューヨークに迷い込む、ファンタジー。
邦 画	恋空	今井夏木	新垣結衣	11月3日	中高生から圧倒的な支持を獲得した、携帯小説の映画化。 原作者である美嘉の体験をもとに書かれた真実の物語。
	ALWAYS 続・三丁目の夕日	山崎 貴	吉岡秀隆	11月3日	昭和34年の東京を舞台に、心温まる人間ドラマ。
	椿三十郎	森田芳光	織田裕二	12月1日	昭和37年に黒沢明監督、三船敏郎主演で製作された作品のリメイク。
	茶々 天涯の貴妃	橋本 一	和央ようか	12月22日	淀君の波乱の人生を描く歴史絵巻。
	母べえ	山田洋次	吉永小百合	1月26日	黒沢明監督のスクリーンライターを務めた野上照代が幼い頃の家族の思い出を綴ったノンフィクション作品の映画化。
ア ニ メ	ドラえもん のび太と緑の巨人伝	渡辺 歩	水田わさび	3月8日	人気シリーズの最新作。